

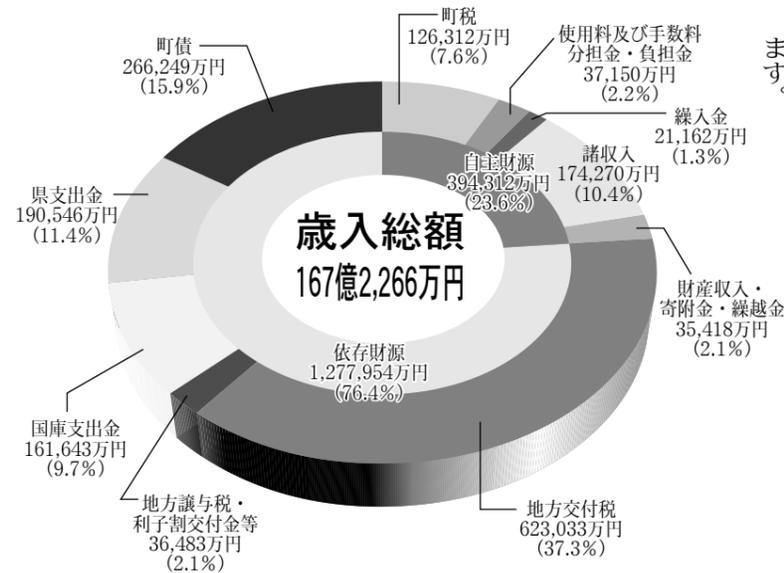
平成19年度決算の状況

平成19年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算が、9月の第3回定例議会で認定されました。町民の皆さんが納められた税金や国から交付される地方交付税などがどれだけ入り、どのように使われたか、町の家計簿をお知らせします。

◆一般会計歳入歳出の概要

歳入

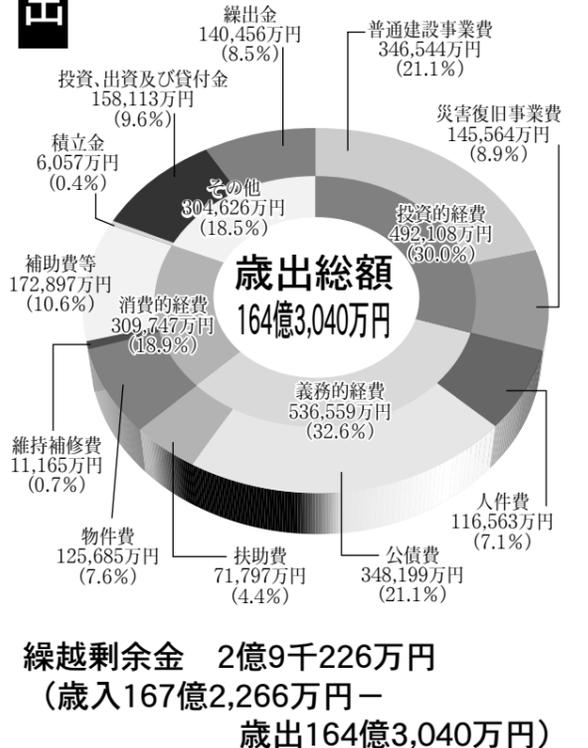
歳入総額の決算額は一六七億二、二六六万円、前年度と比較すると八億七、八八〇万円（五・〇％）の減となりました。歳入決算のうち依存財源といわれる地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、町債、自動車取得税交付金等を合計すると七六・四％で、依然として国や県に依存した財政構造となっております。



歳出

歳出総額の決算額は一六四億三、〇四〇万円、前年度と比較して九億八八一万円（五・〇％）の減となり、投資事業の比較では、情報基盤施設整備事業や町道新設改良事業、横田中学校大規模改修・耐震改修事業など積極的な社会資本整備と、繰越事業として平成十八年災害復旧事業を実施しました。鳥上コミュニティセンターをはじめとする交流促進施設整備事業、三成公園陸上競技場・ホッケー場改修事業など大型事業が終了したことから、前年度比八億三、〇六三万円の大幅な減となりました。

主な財政指標については、「経常収支比率」は八八・六％で昨年と比べ三・二％の増となりましたが、県下で一番低い（良い）数値です。これは引継いだスキーリフトの九千万円の返済や農業集落排水等特別会計繰出金の増によるものです。公債費関連指標については、昨年度と比べ「起債許可制限比率」（三カ年平均）は一五・三％と〇・二％上昇、これに病院、水道、下水道整備に要した借入金返済のための特別会計への繰出金などを加えた自治体全体の実質的な公債費負担を示す「実質公債費比率」（三カ年平均）は二五・一％と一・二％上昇しました。これは福祉事務所を設置した交付金一億一千万円が、市は収入に加算されますが、町は収入に加算されず、また本町が道路、上下水道整備など町民生活に直結した生活基盤整備を進めるなど、財政健全化に向けた取組みを更に強化いたします。



繰越剰余金 2億9千226万円
 (歳入167億2,266万円－
 歳出164億3,040万円)

【表1】 公共サービス提供の成果 ～平成19年度の主な建設事業～

項目	金額(万円)
■一般会計	
情報基盤施設整備事業(幹線光ファイバー網整備)	14億3,266
移動用通信鉄塔整備事業(福原地区携帯電話鉄塔整備)	4,522
空家活用事業(空家購入、改修)	8,027
コミュニティ施設整備事業(集会所整備補助金3カ所)	3,400
道路新設改良事業(町道佐白北原線等)	8億2,200
町営住宅建設事業(滝の上第1団地建替)	1億3,103
尾原ダム関連町道付替事業	1億
中学校大規模改修・耐震改修事業 (横田中学校普通教室棟)3期分	2億7,174
農業施設災害復旧事業	4億5,896
農地災害復旧事業	1億304
林業施設災害復旧事業	1,125
公共土木災害復旧事業	8億8,240
■簡易水道事業特別会計	
大馬木地区簡易水道再編推進事業(継続)	2億4,312
■公共下水道事業特別会計	
横田地区(継続)	1億8,000
■農業集落排水事業特別会計	
馬木地区(大馬木処理区)(継続)	3億575
■合併浄化槽事業特別会計	
市町村設置型合併処理浄化槽設置(町内全域)53基	7,122

※平成18年度からの繰越事業を含みます

H19奥出雲町一般会計決算額(歳出・目的別内訳)

款	決算額(万円)	構成比(%)
議会費	8,611	0.5%
総務費	264,652	16.1%
民生費	148,228	9.0%
衛生費	120,538	7.3%
労働費	2,481	0.1%
農林水産業費	177,392	10.8%
商工費	20,774	1.3%
土木費	260,523	15.9%
消防費	38,651	2.3%
教育費	106,376	6.5%
災害復旧費	145,564	8.9%
公債費	349,250	21.3%
合計	1,643,040	100.0%

※財政指標

【経常収支比率】・・・財政の健全度をみる最も大切な指標で、町の歳入である地方交付税と町税等に対し、決まって支出しなければならない人件費や借入金の返済、常備消防等への負担金や補助金などの割合を示す指標で高いほど財政の余裕の無さを示します。(夕張市は125%で25%が赤字、本町は88.6%で県下最低です)
 【起債許可制限比率】・・・公債費(借入金)による財政負担の度合いを判断する指標の一つで、支払った公債費を主たる収入である地方交付税と町税の合計で割った比率です。危険ライン(15%)を越えないよう財政の健全化が求められています。

【実質公債費比率】・・・一般会計の公債費だけでなく、病院や下水道事業などの特別会計への繰出金や一部事務組合への負担金、債務負担行為のうち、公債費に準ずるものは全て合算し、主たる収入である地方交付税と町税の合計で割った比率です。この比率25%を超えると一部の起債発行が制限される「起債制限団体」となります。本町は25.1%と0.1ポイント高くなりましたが、財政に余裕があり起債制限は受けません。

【表2】 特別会計決算の状況

会計名	歳入	歳出	差引残高	
町立奥出雲病院事業特別会計	(収益的)	194,743	198,321	△3,578
	(資本的)	19,910	40,652	△20,742
国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	176,811	163,818	12,993	
老人保健事業特別会計	227,419	227,419	0	
介護老人保健施設事業特別会計	36,545	36,545	0	
介護サービス事業特別会計	30,076	30,076	0	
訪問看護ステーション事業特別会計	1,748	1,748	0	
簡易水道事業特別会計	108,136	108,038	98	
公共下水道事業特別会計	42,514	42,456	58	
農業集落排水事業特別会計	70,396	70,324	72	
合併処理浄化槽事業特別会計	12,412	12,358	54	
仁多発電事業特別会計	1,289	1,200	89	
三井野原スキーリフト事業特別会計	7,347	7,347	0	
国営農地開発事業特別会計	8,417	8,417	0	

◆特別会計の概要

奥出雲病院事業をはじめ、一三の特別会計の決算は表二のとおりとなりました。各特別会計に対する一般会計からの繰出金は、奥出雲病院事業会計に三億七千七百円、国民健康保険特別会計に一億五、五二七万円、老人保健事業特別会計に二億二、三三二万円、介護老人保健施設事業特別会計に一、六三四万円、介護サービス事業特別会計に四、四〇九万円、簡易水道事業特別会計に三億五、七四〇万円、公共下水道事業特別会計に九、九四〇万円、農業集落排水事業特別会計に二億一、五六〇万円、合併処理浄化槽事業特別会計に一、八八〇万円、三井野原スキーリフト事業特別会計は引継いだ赤字解消に六、五三六万円、国営農地開発事業特別会計に六一六万円となっております。